

2021年5月7日



2021年3月期 決算説明資料

(2020年4月～2021年3月)

komatsumateRe
小松マテール株式会社

1) 2021年3月期 決算の概要

2) 2022年3月期 業績見通し

(単位：百万円)

項 目	2020年3月期 実績	2021年3月期 実績	増 減	
			金 額	増減率 (%)
売上高	36,525	30,018	△6,507	△17.8
営業利益	1,612	1,416	△195	△12.1
経常利益	2,152	1,916	△236	△11.0
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,375	1,810	434	31.6

一株当たり純資産	809.39円	855.78円
一株当たり当期純利益	32.06円	42.38円

期中平均為替 レート	USD	108.70円	106.10円
	EUR	120.81円	123.76円

単体・国内子会社・海外子会社別 売上高・営業利益

(単位：百万円)

<コメント>

- (単体・国内子会社)
 - ・コロナ禍の消費不振により売上が大きく減少
 - ・BtoC参入にて利益増加
 - ・売上ダウンに対し、コストダウンを図り、国内においては利益を確保
- (海外関係会社)
 - 蘇州工場において、コロナの感染拡大によるロックダウンの影響及び中国事業の再編による生産活動の停止により減収減益となった。

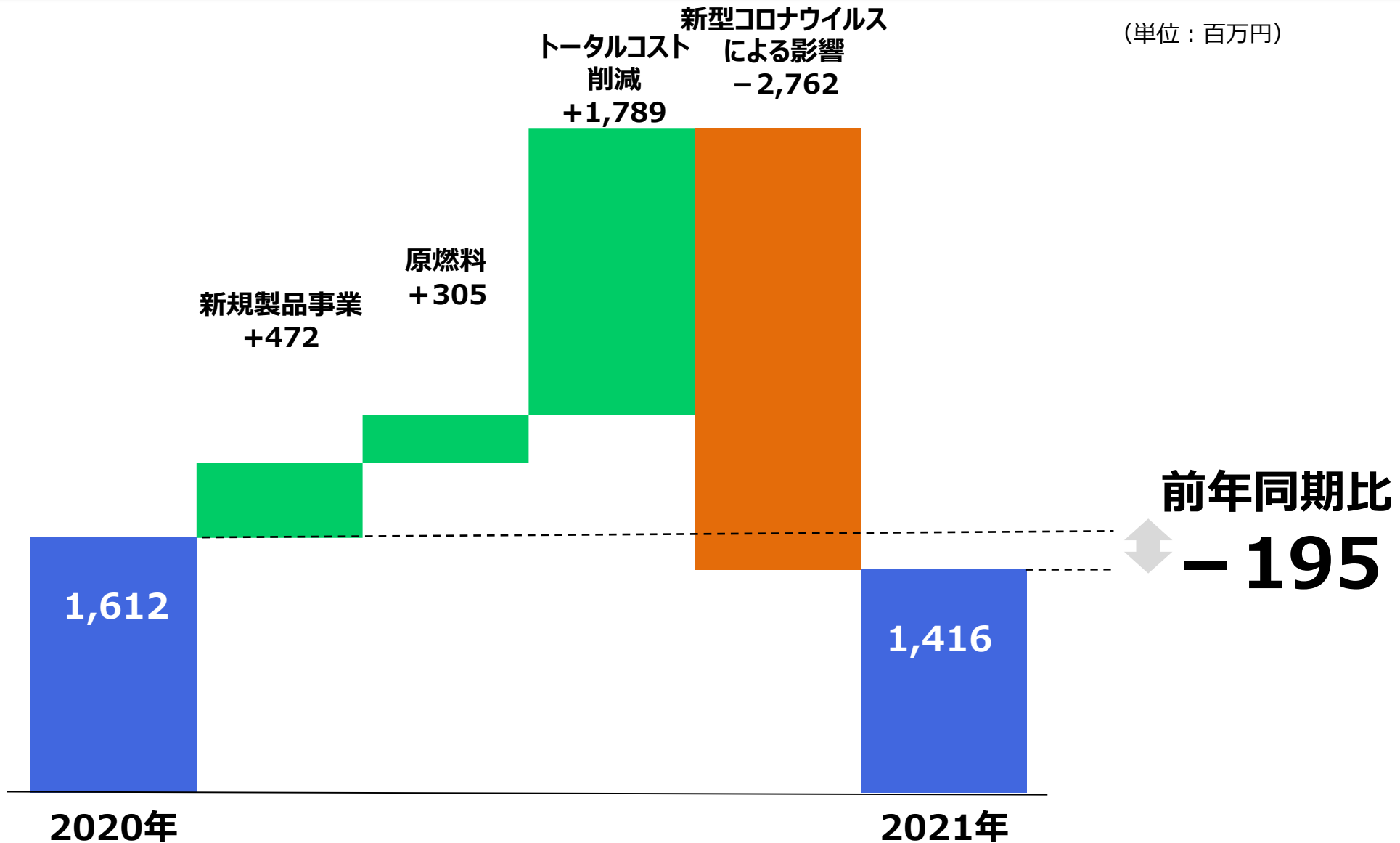
		2021年3月期 実績	前年実績	前年比 増減	
①単体	売上高	26,516	30,604	△4,088	
	営業利益	1,509	1,470	40	
②国内関係会社	売上高	7,118	8,753	△1,635	
	営業利益	156	133	23	
	コマクソン	売上高	3,459	4,931	△1,472
		営業利益	49	52	△3
	その他	売上高	3,659	3,822	△163
		営業利益	107	81	26
③海外関係会社	売上高	1,938	3,808	△1,870	
	営業利益	△262	△6	△257	
単純合計 ①+②+③	売上高	35,572	43,165	△7,593	
	営業利益	1,403	1,597	△194	
連結調整	売上高	△5,554	△6,640	1,086	
	営業利益	14	16	△2	
連結	売上高	30,018	36,526	△6,507	
	営業利益	1,417	1,612	△196	

主な利益変動要因

(単位：百万円)

損益区分	利益変動要因(前期比)	変動金額	営業利益	経常利益	当期利益
営業利益	・本体ファブリック事業	△432	△196	△236	435
	・本体製品事業	472			
	・国内子会社	23			
	・海外子会社	△257			
	・その他	△2			
営業外損益	・為替差益	31			
	・持分法利益	△26			
	・受取利息、受取配当金	△22			
	・その他	△23			
特別損益	・固定資産売却	866			
	・投資有価証券売却	△76			
	・投資有価証券評価損	△169			
	・関係会社整理損	△449			
	・その他	△56			
その他	・法人税等	555			

営業利益増減分析



連結業績のセグメント別内訳

(単位：百万円)

セグメント	売上高				営業利益			
	2021年 3月期 実績	前期 実績	増減		2021年 3月期 実績	前期 実績	増減	
			金額	率 (%)			金額	率 (%)
繊維事業計	29,400	35,906	△6,505	△18.1	1,368	1,580	△212	△13.4
衣料ファブリック	19,228	25,176	△5,947	△23.6	860	1,564	△704	△45.0
資材ファブリック	8,476	9,913	△1,437	△14.5				
製品部門	1,696	817	879	107.6	508	17	492	—
物流・物販事業	617	618	△1	△0.2	49	32	17	52.3
合計	30,018	36,525	△6,507	△17.8	1,417	1,612	△196	△12.1

<コメント>

●衣料ファブリック

中東向けの民族衣装分野においては計画通り推移も、新型コロナウイルスの影響により国内外とも売上減少

●資材ファブリック

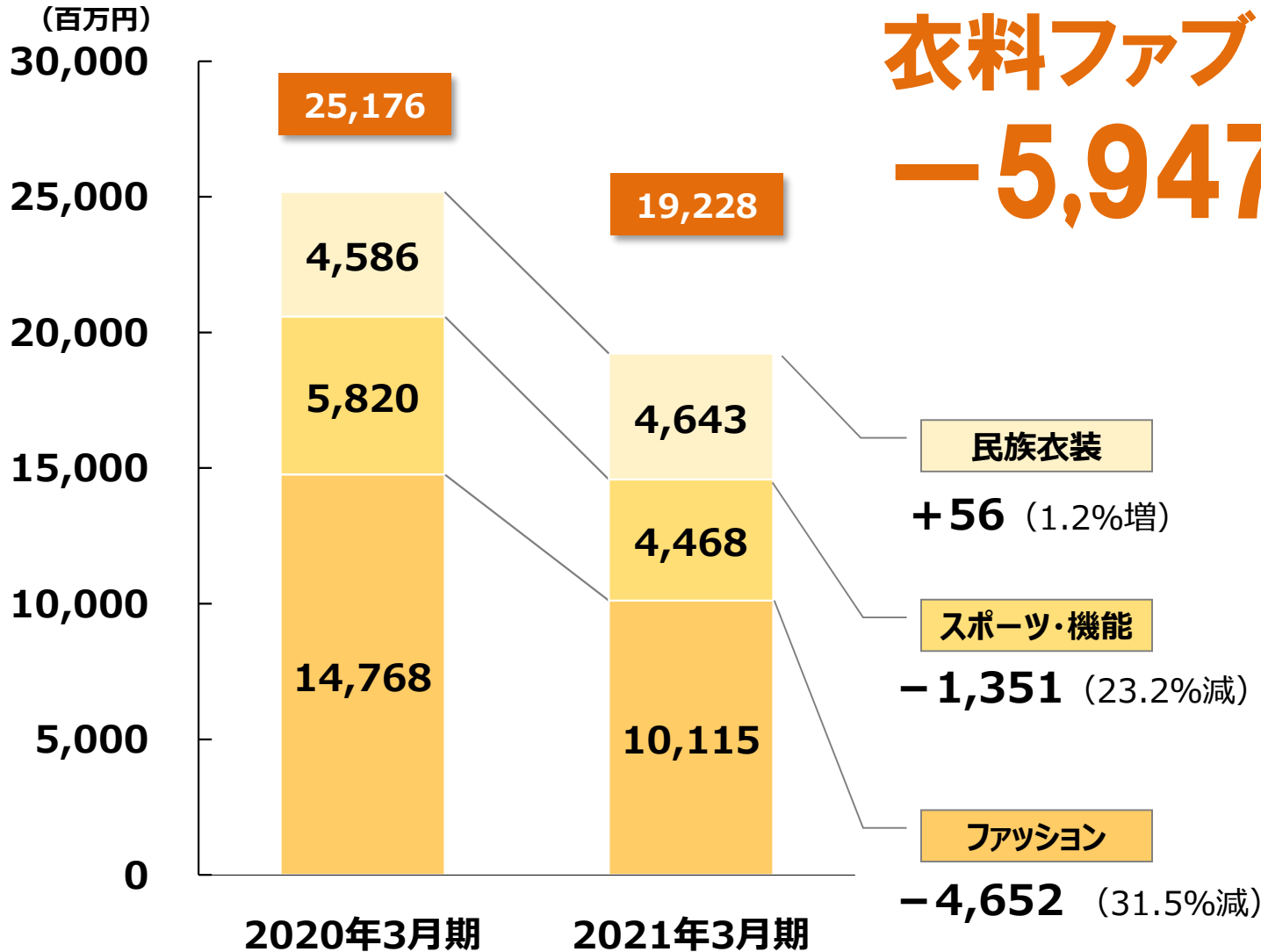
自動車業界の需要持ち直しにより、車輻分野においては計画通り推移も、車輻以外は新型コロナウイルスの影響により減少

●製品部門

抗ウイルス加工素材“エアロテクノ”の上市とBtoC参入により、売上・利益を拡大

繊維事業 (衣料ファブリック部門)

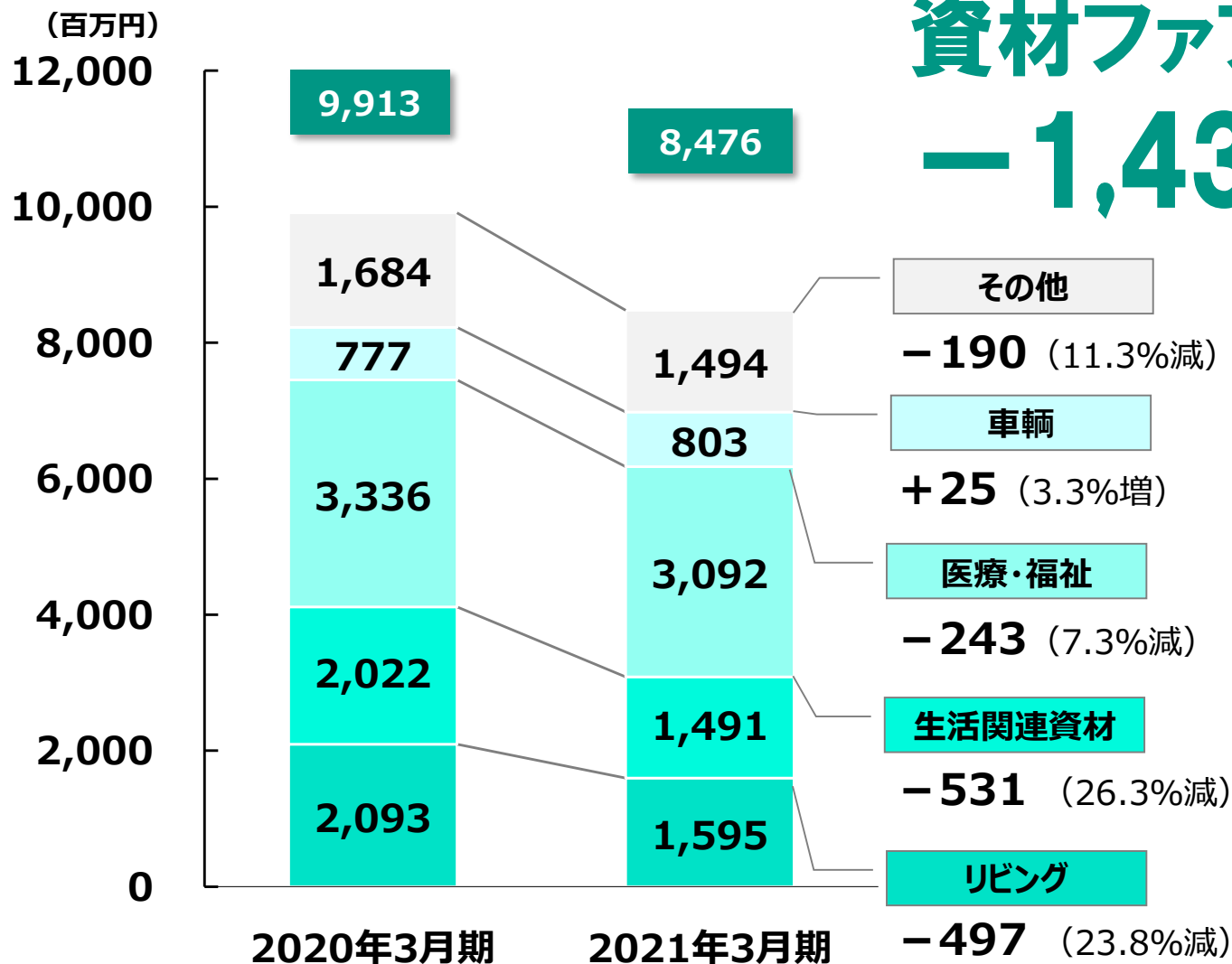
衣料ファブリック計 -5,947 (23.6%減)



<前期対比>

中東向けの民族衣装分野においては計画通り、順調に推移したものの、新型コロナウイルスの影響により国内及び欧州向けのファッション・スポーツの両分野は売り上げ減少

（単位：百万円）



資材ファブリック計 -1,437 (14.5%減)

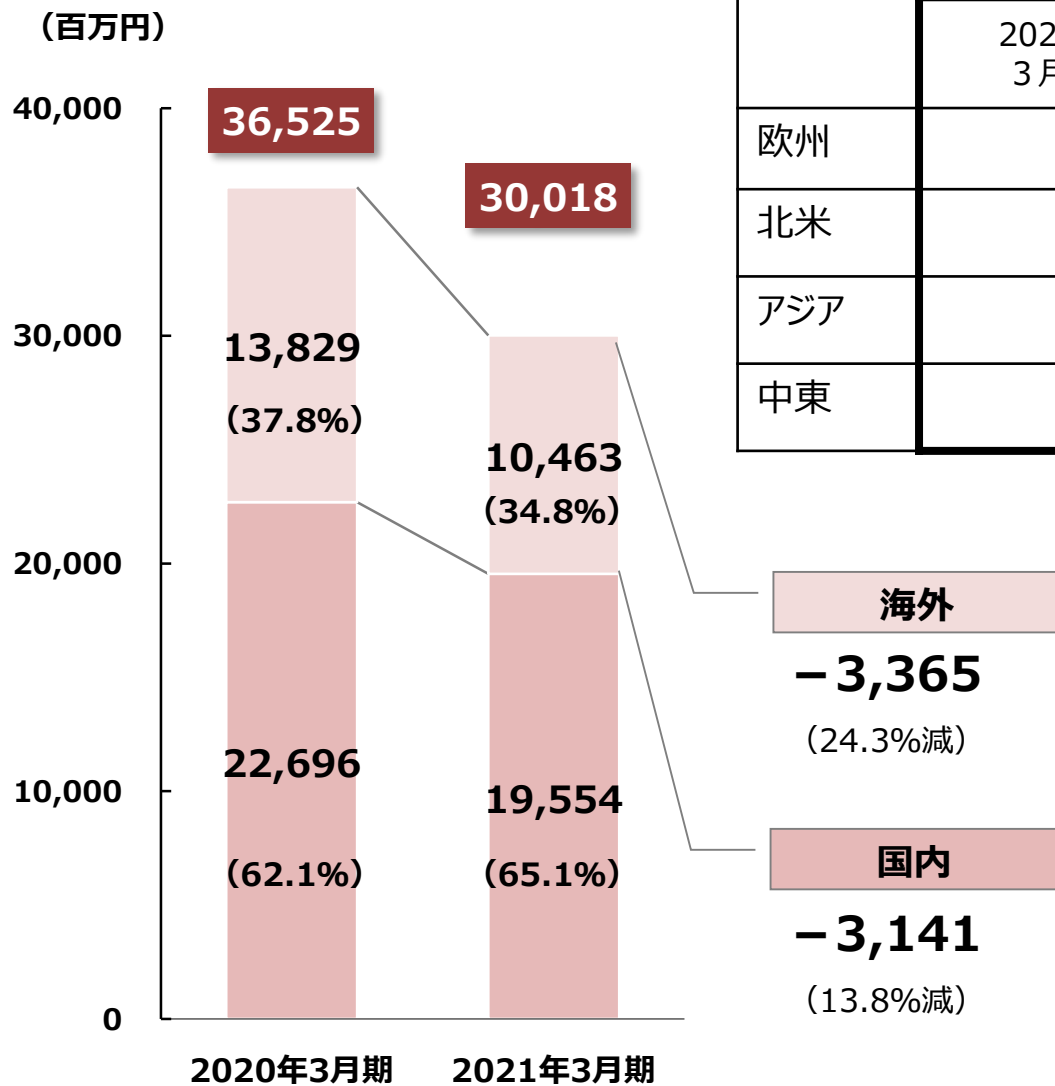
<前期対比>

自動車業界の需要持ち直しにより、車両分野においては計画通りに推移したものの、新型コロナウイルスの影響による需要低迷を受けて車両を除く分野において売り上げが減少。

市場別売上高(国内・海外)

海外市場の内訳

	2021年 3月期	2020年 3月期	増減額	増減率 (%)
欧州	3,377	4,965	△1,588	△32.0
北米	1,080	1,327	△246	△18.6
アジア	1,564	3,141	△1,576	△50.2
中東	4,441	4,394	46	1.1



<コメント>

- 海外市場
新型コロナウイルスの影響により、中東以外は総じて減少
- 国内市場
製品部門が増加するも、ファブリック部門については、新型コロナウイルスの影響により減少

連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2021年3月期	2020年3月期	増減
流動資産合計	20,459	21,100	△640
現金預金	9,956	8,603	1,352
受手・売掛金	6,323	7,714	△1,391
棚卸資産	3,696	4,537	△841
その他流動資産	483	244	238
固定資産合計	25,176	24,873	302
有形固定資産	6,728	8,032	△1,304
無形固定資産	245	356	△111
投資その他資産	18,202	16,484	1,718
資産合計	45,635	45,973	△338

	2021年3月期	2020年3月期	増減
流動負債合計	5,460	7,047	△1,587
支手・買掛金	3,861	4,637	△775
その他流動負債	1,598	2,410	△812
固定負債合計	4,101	4,070	31
退職給付に係る負債	3,666	3,651	15
その他固定負債	434	418	15
負債合計	9,561	11,118	△1,556
株主資本合計	35,623	35,339	284
資本金	4,680	4,680	0
資本剰余金	4,602	4,701	△99
利益剰余金	27,197	26,075	1,122
自己株式	△856	△119	△737
その他の包括利益/非支配株主	450	△483	933
純資産合計	36,073	34,855	1,218
負債・純資産合計	45,635	45,973	△338

<増減コメント>

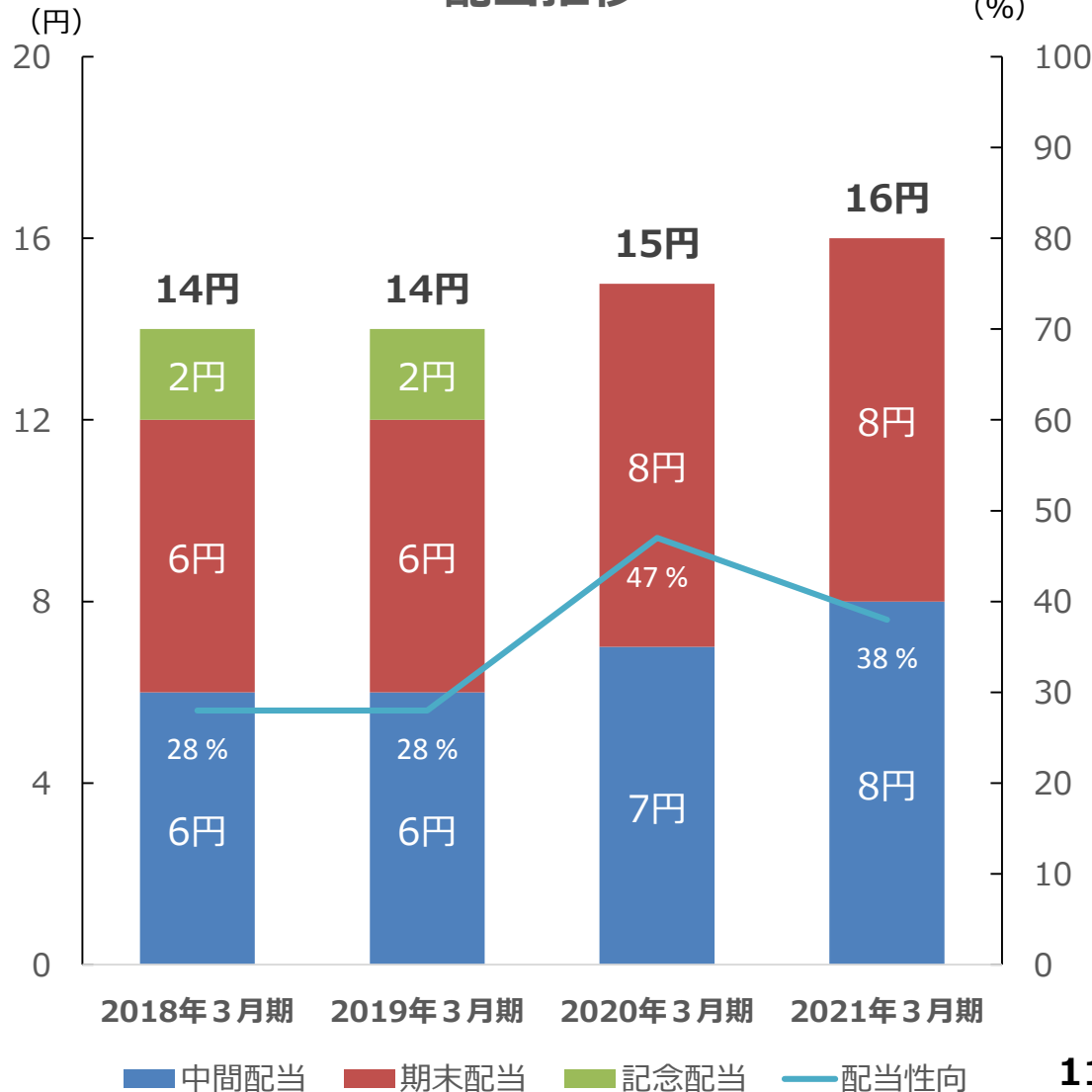
- 有形固定資産：取得7億／償却11億／売却8億
- 投資その他の資産：投資有価証券評価益の増加15億
- 自己株式：75万株取得7億
- 自己資本比率：79.0% ← 75.5%

剰余金の配当について

- ◆ 当社は、株主に対する利益還元を重要課題のひとつとし、安定的な配当を継続的に行うことを基本方針としております。
- ◆ 配当性向については当期純利益の30～50%を目安としております。

- 当期末の剰余金の配当につきましては、1株につき8円（普通配当）とすることといたしました。
- 今期中間配当金額と合わせた年間配当金は、前期比1円の増配となる1株当たり16円といたしました。
- 期末配当金の総額 338,158,920円
- 当期末の配当性向は38%となっております。
- 剰余金の配当が効力を生ずる日
2021年6月28日(月)

配当推移



1) 2021年3月期 決算の概要

2) 2022年3月期 業績見通し

(単位：百万円)

項目	2021年3月期 実績	2022年3月期			増減（通期比較）	
		上期予想	下期予想	通期予想	金額	増減率 (%)
売上高	30,018	14,500	17,500	32,000	1,982	6.6
営業利益	1,416	700	1,100	1,800	384	27.0
経常利益	1,916	950	1,350	2,300	384	20.0
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,810	750	1,100	1,850	40	2.2

一株当たり当期純利益	42.38円	43.89円
------------	--------	--------

期中平均 為替レート	USD	106.10円	100円
	EUR	123.76円	120円

① 先端技術を活かした新たな価値の創造

- 染色技術のみならず、高度機能加工、炭素繊維複合材料開発などの先端技術を活かし、積極的に用途開拓を図るなど新たな価値を創出する

② 持続可能な社会の実現にむけた取り組み

- 「小松マテレ・サステナビリティ・ビジョン」の課題への取り組みを軌道に乗せ、より高い環境課題(CO₂・水・廃棄物削減等)と、防災・減災や地域貢献活動を推進します。
- 「環境・バイオ技術開発部」を新たに設置し、排水処理汚泥の減容化を図り、廃棄物削減とコスト削減を実現し、また、本技術を新たな事業として展開を図る

③ BtoCモデルの本格運用及び情報発信力の強化

- ネット販売事業(BtoC)のさらなる拡大、「YouTube」を利用した「ウェビナー」の定期配信、新たな試みとして「デジタルファブリックショールーム」の立ち上げなど、情報発信ツールを充実し、顧客提案力を強化する

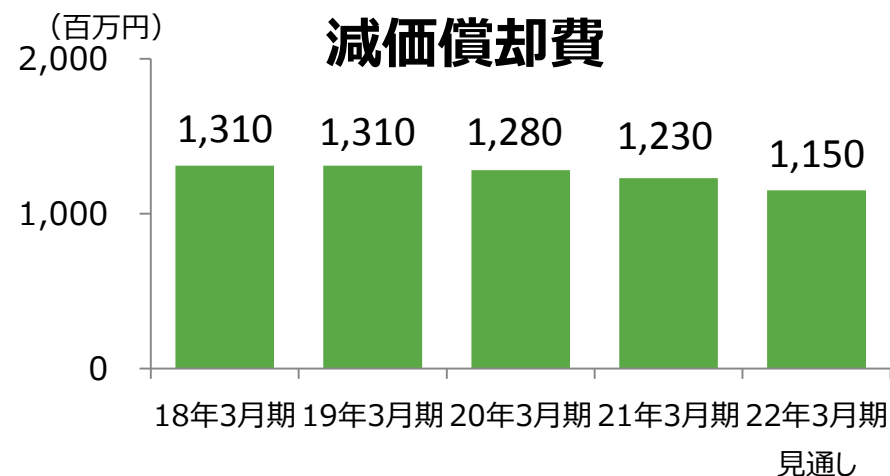
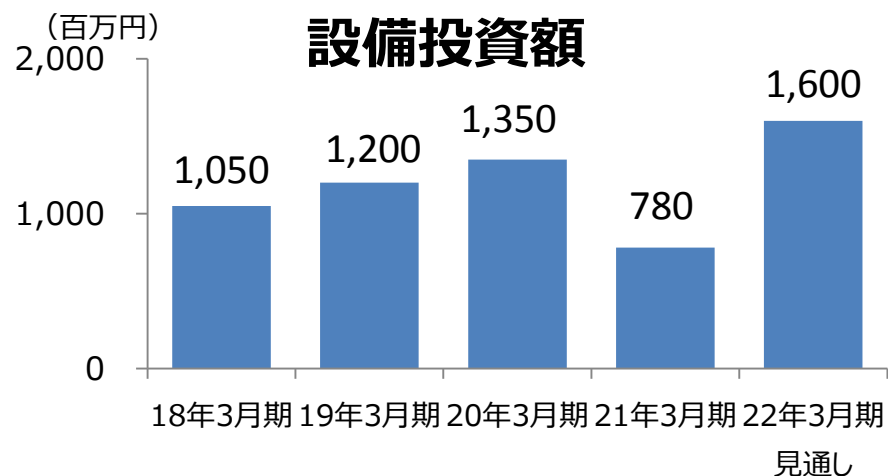
④ 海外市場・非衣料分野の強化

- 海外市場並びに非衣料分野を積極的に拡大し、当社の強みであるファッション衣料分野と同様に、非衣料分野への継続的な経営資源を投入する

⑤ 生産性向上及びコスト削減にむけた取り組み

- 計画的な設備投資により、生産工程の合理化、I TやA Iの導入・活用、短時間で染色を可能とする糸と染色技術の適用拡大、原材料及び調達ルートの見直しなどにより、生産性向上とトータルコスト低減に取り組む

設備投資額・減価償却費推移



設備投資額 内訳

(単位：百万円)

項目	2021年3月期 実績	2022年3月期 見通し
製造関連投資	473	828
開発関連投資	15	160
環境関連投資	122	200
システム関連投資	70	316
その他	100	96
合計	780	1,600

本資料中の業績予想、見通しについての記載は、現時点における将来の事業環境・経済状況等の仮定・推測に基づいています。実際の業績は様々な要因の変化により、これと異なる結果となる可能性があることをご理解願います。